【日程】

6月4日	
8:06	JR 博多駅発(1600 円)
9:44	苅田駅着
11:30	日産自動車工場訪問(徒歩+バス)
14:30	移動
15:30	苅田町役場訪問 (徒歩+バス)
16:30	
	ビジネスホテル千成着(シングル 4000 円、ツイン 7000 円)
6月5日	
	苅田駅周辺のフィールドワーク
12:24	苅田駅発(JR 九州乗車 360 円)
12;48	小倉駅着

【目的】

苅田町の地理的な特徴を生かした、行政と企業の相互作用による企業城下町形成の理論と今後の課題とそれに対する取り組みを探る。

【訪問先/質問事項】

苅田町役場

- ①どのような経緯で日産を誘致したのか
 - ・行政側は苅田町のどのような地理的な特徴が日産自動車にとって魅力だったと考えているのか。
 - 社会的な特長 "
 - ・行政側は日産自動車を誘致する際に、具体的にどのような取り組みをしたのか。
 - ・当時の北九州工業地域は工業の集積がまだなされておらず、日産自動車にとって進出のうまみは少なかったと思われるが、苅田町はどのように誘致を働きかけたのか。
 - ・北九州空港はどのような経緯や要望で建設されたのか。
- ②これまでどのようなまちづくりを行ってきたのか。
 - ・日産自動車が進出してきたことによって、苅田町は能動的にどのような影響が あったのか。
- ③苅田町の今後の課題・展望はどのようなものか。
 - ・北九州空港の整備は苅田町にとってどのような意味を持つのか。

- ・九州自動車道の整備は "
- 苅田港の整備は
- IJ
- ・交通網の整備のために苅田町は何をしているのか。
- ・円高や工場の海外移転等、自動車産業を取り巻く環境は厳しいかと思うが、苅田 町はどのような認識を持っているのか。
- ・そのような認識の上で苅田町はどのような考えで、まちづくりを行っていこうと 考えているのか。

日産(基本的に苅田町役場にしたものと逆の問いをしたいと思います。)

- ①なぜ苅田町に工場を建設したのか。
- ②苅田町にどのような要望/期待があったか。
- ③苅田町の今後の課題・展望はどのようなものか。
 - ・トヨタ自動車のように、子会社化して経営上の裁量を拡大するようなことは 考えていないのか。

【収集する資料】

苅田港 (大型船の写真など)、自動車工場 (生産工程の写真、パンフレット等)、苅田町中 心部の風景、苅田町住人のインタビュー、町役場 (日産が立地する以前の地図、土地利用 の区分が分るような地図)